

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 評価結果および改善方策

【平成30年6月19日実施】

学校関係者評価委員氏名 【 委員意見集約資料 】

平成29年度自己点検自己評価(平成29年4月1日～平成30年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1		
1 ・ 育 成 人 材 像	1 理念・目的・育成人材像	2.9		<p>学校運営にあたり、一番大切にしていることが、ミッションと理念である。これを基に、作成している事業計画があるからこそ、健全な学校運営ができています。事業計画で考える中期計画は、学校の未来を表現したものであり、そこで考えられた組織目的、運営方針、実行方針、実行計画が学校の成長につながってきた。</p> <p>また理念、経営者の言葉、学校の考え方や組織文化を、さまざまな形で文書化し、組織内に浸透させるとともに、新たに組織に入ってくる人にも外部にもわかりやすく示していくことによりかなりの力を注いでいる。このことが、学園、学校の活性化につながっていると考える。</p>	<p>業界の変化に対応するため、育成人材の見直しは、常にかつ組織的に行われなければならない。本校では、その専門職として、ファカルティ・ディベロップメント・コーディネーター(※)を置き、育成人材像から学科の教育内容の見直しを行っている。</p> <p>※ファカルティ・ディベロップメント・コーディネーター(FDC) 専門学校における教育の構成要素</p> <p>①養成目的と教育目標(社会ニーズと卒業時到達目標) ②目標達成プロセス(カリキュラム・学年歴・時間割・シラバス・コマシラバス) ③目標達成素材(教科書・教材・教育技法) ④目標達成支援人材(担任・専任教員・講師) ⑤評価基準(透明性・公平性・競争性)</p> <p>を学校・学科の独自性・有効性に役立つように改革する核となる人材。</p>	3		<p>【川野委員】ミッションと理念を全職員・生徒に浸透させるために4つの信頼を大切にしたい。</p> <p>【青木】教育理念に基づき成長できていると思います。</p> <p>【村橋委員】教育理念に基づき具体的な目的目標に向けて落とし込みができています。</p> <p>【上田委員】入学希望者が多いのはとても良いと思います。今後高校生、在校生にとって魅力ある学校であって頂きたいです。</p>
2 学 校 運 営	2 運営方針	3		<p>法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を定めている。</p> <p>明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。それは、各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・課別会議等)で行い、全教員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に市場ニーズに対応した事業計画・運営方針をこれからも作成するよう努める。</p>	<p>学校運営をマネジメントシステムの準備(計画)と実行として捉え、マネジメントスキル、知識、そしてリーダーとしての研修を重視している。マネージャーは組織運営者であることを前提としている。</p>	3		<p>【川野委員】安定した学校運営がなされている。情報の一元化はとても大切だが、それを元にした職員間ならびに生徒・保護者との対話が重要である。(退学防止・就職支援)</p> <p>【青木委員】学生にとって魅力的な学校だと思います。</p> <p>【村橋委員】運営管理に優れている。</p> <p>【上田委員】職員、講師などに若い人が多いと学生にも近い関係が築け、退学も防げると思います。タイミングetc. あると思いますが、そのあたりも今後更に検討しても良いかと思っています。</p>
	3 事業計画	3		<p>法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を作成している。事業計画を立てること、運営方針を定めることは、常に同時に考え、実践している。</p> <p>明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。</p>	<p>事業計画を教職員が自立的に計画し決定し全員で共有する。その上で職場運営が実行に移されていく。</p> <p>その運営のチェック機能として</p> <p>①学園の常務会議 ②学校ごとの戦略会議(運営責任者会議) ③運営会議(学科責任者会議) ④学科会議、部署会議</p> <p>があり、計画遂行の確認をする。問題点を早期に発見し、対策を立て、実行するプロセスを確立している。</p>			
	4 組織運営	3		<p>意思決定に関しては、重要事項の優先順位と対応する機関が明確である。毎年事業計画策定という厳しい作業があることで、目標志向性の高い組織運営が行われている。</p>	<p>会議については下記2点を重視している。</p> <p>①会議の進行ルール ②議題発信と議事録配布・保管のルール</p> <p>また、会議についての研修を実施している。</p>			
	5 人事・給与制度	3		<p>採用計画と人材育成のための研修は、システムとして確立され、有効に機能している。採用にあたっては、学園本部が中心となり、採用広報や、採用試験を実施している。採用は採用基準の基、厳正に実施している。</p> <p>また、その後の教職員の育成には、もっとも力を入れている。</p> <p>そして、目標管理制度に基づき、成果に応じた人事や賃金決定が行われている。</p>	<p>数字目標を達成する過程の業務や、数字だけでは評価できない業務は情意効果として評価している。</p> <p>目標は常に、健全な学校運営・学科運営を実現できているかという視点で立て、評価も公平に行い、学校・学科の成長と教職員の成長に結びつくようにしている。</p> <p>また、職員の職場に関するアンケートも実施。理念、目標の理解度や、職場満足度、各自の希望などの項目でアンケートを取り、その結果を受けての、職場環境の改善にも着手している。</p>			
	6 意思決定システム	3		<p>法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を定めている。</p> <p>明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。それは、各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・課別会議等)で行い、全教員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。</p> <p>このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に市場ニーズに対応した事業計画・運営方針をこれからも作成するよう努める。</p>	<p>会議は</p> <p>1. 法人理事会・評議員会 2. 学校戦略会議 3. 法人学校運営会議 4. 運営会議 5. 学校全体会議 6. 学校学科会議・部署会議 7. グループ各委員会会議(広報委員会・総務人事委員会・就職委員会・国家試験対策委員会・学科別教育研究委員会)</p> <p>最高決議機関 運営方針の起案会議 運営方針の問題を発見・対策立て会議 学校の目標達成に向け、発生する問題解決会議 決定事項の周知 部署の問題解決会議</p>			
	7 情報システム	3		<p>個別セクションの情報システム化、その結果としての業務の効率化は推進されていると考えている。</p> <p>それは、業務のマニュアル化とシステム化が推進されたこと、法人内のコンピュータ関連会社の協力で、情報の一元化に成果が現れてきたことによる。</p> <p>ここで重要なことは、何のための情報システム化をしているのかという点である。</p> <p>入学前、在籍中、卒後の流れの教育システムの中で、学生一人ひとりの情報を一元管理し、学生の様々な支援(進路決定、就職支援、学費相談等)の際に、その情報を活かし、適切な助言ができることで、専門就職への内定獲得や資格合格に結びつけることである。また、業務の効率化により、教職員が直接学生と接する時間を多くすることが可能になった。</p>	<p>特に、学生の教育・就職・学費入金等、学生に関わる情報処理についてはすべて一元化された運営を行っており、学生情報にプレがなないようにシステム構築をしている。そのことが、退学防止、就職支援へとつながっている。</p>			

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 評価結果および改善方策

【平成30年6月19日実施】

学校関係者評価委員氏名 【 委員意見集約資料 】

平成29年度自己点検自己評価(平成29年4月1日～平成30年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
3 教育活動	8 目標の設定	2.1		教育指導要領に基づき理念に沿った教育を行っている。また教育到達レベルも明確に明文化されている。	学校独自の教育システム PCP教育プログラム MMP教育プログラム	2.5	【川野委員】ポートフォリオを活用して欲しい。非常勤講師が多いとの事なので教育目標や合格(国試)のための到達目標・評価・認定の基準等の共有が重要である。 【上田委員】合格率100%は、学生本人の意思が一番大切だと思います。ポジティブに学生が過ごしやすい学校環境を作っていくことが100%への道になると思います。
	9 教育方法・評価等	1.8		養成目的・教育目標を立てたうえで、卒後の業界の求める人材育成を実施している。単なる「職業教育」から「職業人教育」へと教授内容・方法をシフトさせており、その根底になっているものとしてキャリア教育の観点を入れた教育が必要である。	・養成目的 ・教育目標 ・担任マニュアル ・学生サポートブック		
	10 成績評価・単位認定等	2.4		成績評価と単位認定の基準は、学則施行細則はもとより、「教育指導要領」及び「学生便覧」にしっかりと明記し、職員や講師、学生に周知徹底している。また、それらに基づき学生指導・支援にあたっている。	学生便覧 学則施行細則		
	11 資格・免許取得の指導体制	2.4		美容師免許取得は学科としての必須命題である。このため法律に則った教育の施行を遵守し教育にあたっている。 平成29年度の国家試験の合格率は93.1%、不合格者に対し無料で国家試験対策授業(通信課程)に参加できるようにしている。	学生便覧 学則施行細則 卒後支援プログラム		
	12 教員・教員組織	1.8		教員の体制については特に問題はないが、多様化する学生への学習支援が求められている。特に学習習慣がない・低学力などの学生に対する教育支援が課題となっている。	講師会議 科目連絡会 国家試験対策教員勉強会		
4 学修成果	13 就職率	2.4		就職率90%、就職内定率100%目標を掲げているが、いずれも未達成であった。要因としては担任・キャリアセンターの連携が薄かったほか、学生の就職意欲希薄や採用試験合格率低下も挙げられる。 学科別に見ると課題の傾向が異なり、美容師科は2パターンあり、就職希望の美容室へこだわりが強すぎて不採用後も気持ちの切り替えが出来ない層と、就職意欲が持てない層に分かれている。ヘアメイク科も2パターンあり、就職意欲が持てない層と、美容師免許取得後(卒業半年後に取得予定)に就職活動する層に分かれる。トータルビューティ科は就職率目標を大きく上回り、また就職内定率も100%達成し問題はない。 就職未内定者13名は全員美容師科で、上述の理由で進路決定に至らなかった。この課題を含め、就職率及び就職内定率目標を達成させるため、早期の就職ガイダンスや個別面談を実施し、学生個々が抱える事情まで把握し、改善していくよう対策を講じていきたい。	専門部署としてキャリアセンターを設置している。主な役割としては、 ・入学希望者には美容分野の仕事内容など理解してもらい、入学に向けて安心してもらえるようにする。 ・在学生には企業選択における情報収集や、就職活動時の求人内容把握、採用試験時の筆記試験対策サポートや面接対策アドバイスなど、円滑な就職活動及び進路決定と合わせ、 プロ意識を養い育てて行く。 ・卒業生(同窓生)にはキャリアアップ支援のため実務セミナーの開催や、再就職支援の相談も受け付けている。	2.4	【川野委員】キャリアセンターにキャリアコンサルタントを置いたら良いのではないかと(担任とも連携)。SNSを活用した卒業生のネットワークをHPとリンクしてはどうか。 【青木委員】継続することで社会的評価も上がると思います。 【村橋委員】目標の実現の為に組織的な強化が望まれる。 【上田委員】就職への意欲が高まるような特別授業を増やしていただけるように1年生の時期にしっかりと基礎を叩き込む必要があると思います。
	14 資格・免許の取得率	1.8		職業人教育を担う教育機関としては就労につながる資格に関しては学生全員に取得していただくことを目標にしているが、学生全員の全ての資格試験合格には至っていない。現在は各学科で資格取得のために、対策授業の実施など対策を立て実行している。	資格特別対策講座を、各資格で必ず取り入れている。美容師国家資格では、10年以上全国平均を上回る結果を残している。		
	15 卒業生の社会的評価	1.2		卒業生の社会での活躍は年々増えてきている。有名サロンへの就職のみならず、芸能人のヘアメイク、グローバルな活躍をする卒業生も増えてきている。 その卒業生の活躍を把握できる仕組みを考えていく必要がある。	美容雑誌社とのコラボレーションにより卒業生の紹介を行っている。 ・美容専門誌:ChokiChoki × Belle		
5 学生支援	16 就職等進路	2.4		就職支援の指標として就職内定率の推移を見ると、開校以来95%以上を維持できているので、支援体制として高いレベルであると言える。	滋慶学園グループ美容分野の各校にて求人情報のほか、採用試験報告書なども情報共有し就職支援体制が高いレベルで整えられている。	2.8	【川野委員】中途退学が増えていることがとても残念である。「4つの信頼」を大切にすることも、入学時における高校との連携・入学時から生徒との日常からの会話と担任面接、カウンセリングシステムの充実、保護者との連携、職員間の情報共有と連携をしっかりと行っていたきたい。(学生支援会議の実施等) 【青木委員】卒業後の学生との関わりがあることで若手のアシスタントはモチベーションUPに繋がっていいと思います。 【上田委員】自分の頃にはなかったもの(サークルetc.)がたくさんあり、楽しめる学校になってきていると思います。
	17 中途退学への対応	1.8		本校の平成29年度の中途退学率は10%と悪い水準である。在籍学生の増加とともに悪くなっている。対策として担任力の向上を図る研修を実施、チームで支援体制を作っていくこと、保護者、講師との連携が必要である。	臨床心理士のスクールカウンセラーと担任との連携が重要となる。		
	18 学生相談	2.7		学生の各種相談に対応できる体制を整えている。学生の相談内容が広域になり対応の際に専門的知識を伴うケースが多いため、スクールカウンセラーや留学生担当の職員の配置など対応できるようにしている。	SSC(スチューデント・サービス・センター)と連携をして学園として学生相談室を設置している。 留学生担当教員は東京都専修学校各種学校の主催の「留学生受入れ担当者研修」を受講し、受入れ担当者の資格を取得できるようにしている。		
	19 学生生活	2.9		奨学金利用や健康管理、学生寮、サークル活動などを学生の生活支援の一環として実施している。養成校との直接の関わりはないが、美容分野への就学の機会や中途退学の抑止につながっていると思われる。	公的奨学金(日本学生支援機構・東京都育英資金) 医療機関 一人暮らしサポート サークル活動		
	20 保護者との連携	1.8		普段の教育においても家庭からの協力を得られるように保護者会などでお願いをしている。具体的には出席の状況が不良の場合など一定の基準を伝え保護者に連絡を入れて就学支援の協力を仰ぐようになっている。 殆どの保護者からはご理解をいただき学生の就学に向けてご協力をいただいている。	保護者会 保護者面談		
21 卒業生・社会人	2		卒後の就職や転職の支援は整備されている。また、年1回開催されるベルエポックコンテスト終了後に同窓会を実施し、卒業生の状況を把握し再就職の支援に力を入れている。 近年、業界で活躍している卒業生を講師などでも採用し、在校生にとっては何年後かの目標となり将来像が明確になっている。 今後の課題としては同窓生を対象とした卒後教育システムを構築し、業界で活躍できるサポートを学校全体で実施し、離職率を低くし技術向上の支援なども充実させていく必要がある。	【生涯就職支援システム】 キャリアアップを目指す卒業生や転職を希望する卒業生に対し、キャリアセンターでは卒業後も就職支援をしている。			

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 評価結果および改善方策

【平成30年6月19日実施】

学校関係者評価委員氏名 【 委員意見集約資料 】

平成29年度自己点検自己評価(平成29年4月1日～平成30年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
6 教育環境	22 施設・設備等	2.4		実習授業に力を入れている本校にとって、学内実習室が実際の現場で使われている設備を揃えていることが、必要不可欠である。実践教育のための学内施設、設備は整備されていると考えている。 各教室、実習室は、各種の申請に必要な条件を全てそろえた環境として、承諾を得ている。	スペシャリストとしての技術を磨くための最新施設や機器を完備し、プロの現場と同じ器具、同じ環境で実習授業を受けることで、学生の学習意欲を喚起し、専門就職、資格合格率向上につなげる。 平成29年度はホールの設備に関し、照明機材のリニューアルを行った。 授業以外でも、個別の課題に取り組む環境を用意している。	2.8	【川野委員】ホールなど非常に充実している。AEDの使用方法は学生にも講習を実施すると良い。(学校内外は勿論、就職後も役に立つ) 【青木委員】学生サロンもリニューアルされてキレイでした。教室もリニューアルして、拡大しても良いと思います。
	23 学外実習、インターンシップ等	1.8		学外実習・海外研修を行うことで、学園の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」の全てに関わることになり、その教育効果は大きいものと考えている。	美容師科では現場実習を行っている。		
	24 防災・安全管理	3		防災、火災訓練を実施し、学生、教職員、講師へ非難手順や方法を指示し実施している。救急時における知識の習得と意識付けは出来ている。 防犯対策として、防犯カメラの増設設置(27台)を行った。	・防災訓練の映像化(DVD)がされており、学生・教職員・講師全員が視聴し、防災の意識を高めている。 ※学生避難訓練:平成29年1月16日実施 ※職員消火訓練:平成29年1月16日実施 ・AEDの全校舎設置 校舎入り口付近に自動体外式除細動器(AED)計2台を設置している。 月に一度自動体外式除細動器(AED)の点検をしている。 教職員には、使用方法の講習済みである。校舎入り口にシールを貼り、設置を知らせているので近隣の方々にも緊急の際使用できるようにしている。		
7 受学生入のれ募集と	25 学生募集活動	3		学生募集活動は、学則を基に、その年の入学案内、募集要項の通り、適正に行われていると考えている。	原宿好き、美容好き、ファッション好きの高校生を対象に、その顧客の期待を上回る価値の提供に努めている。(価値:原宿コラボレーション) 授業内容や、体験授業でその体験化を図り、HPやSNSなどで多くの人に見てもらえるように情報発信に注力している。	2.8	【川野委員】初期の退学者を出さないために仕事のやりがいと厳しさもはっきり伝えて欲しい。 【青木委員】若い子に魅力的な打ち出しができています。 【上田委員】体験授業の流れなどを学校側と現場から来るサロン側としっかり打合せをすることでよりよいと思います。
	26 入学選考	2.7		入学選考の基準は明確に定められ適性に入学選考が行われている。 入学者数の予測を踏まえ財務を考えている。	入学選考評価シートを活用した評価の画一化 職員研修による学費相談の研修を実施		
	27 学納金	3		学納金については算定の内容を明確にしておりかつ毎年見直しを行い決定している。入学辞退者の授業料の扱いも文部科学省の通知趣旨に則って行っている。	入学金、授業料、諸費用を分けて学費徴収することで、教科書・教材費に関して無駄な費用請求を無くしている。 入学辞退者に関して3月31日までの申請に関しては、原則入学金以外の費用を受験生に返還している。		
8 財務	28 財務基盤	3		短期・中期・長期の収支計画を立て財務状況の健全維持に努めている。収支・キャッシュフローの状況についても適宜確認できるようになっている。 学外に学校会計を担う株式会社があり財務面での処理については中立公正の立場で会計処理を実施しているため不正行為も未然に防げるようになっている。	学校法人東京滋慶学園財務諸表	3	【川野委員】適切に管理されている。
	29 予算・収支計画	3		厳しいチェック及び評価が行われ、いわゆる債務超過になったり、資金不足になったりする状況にはなっていない。そのため、中長期的には財務基盤は安定し、本校の学校運営も安定していると考えている。 5か年計画に基づいた収支計画は中長期的な視点で物事を考えることができるため、財務基盤の安定に資するための大規模な計画もじっくりと立てることができ、この方針は今後も続けていくと考えている。	本部による財務状況のチェックを毎月受けている。また監事及び公認会計士による監査、行政への報告などを行っている。		
	30 監査	3		現在のところ、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考えている。 監査を有効に実施してもらうために、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。	私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。これによって適正な計算書類の作成とその信頼性の確保に努力している。		
	31 財務情報の公開	3		財務情報公開の体制整備は平成17年4月1日には終了し、体制整備はできている。学園の特徴は、法改正の変化に迅速に対応できる機動力である。今後ともどんな法改正にも迅速に対応していくと考えている。	「財務情報公開規程」「情報公開マニュアル」によって、秩序整然たる順序に基づいて情報公開に対処している点の特徴として挙げることができる。		
9 法令等の遵守	32 関係法令、設置基準等の遵守	2.4		法令や設置基準の遵守に対する方針は文章化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは、平成17、平成18年度で完全に整備させた。 また、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する教育または研修を、実施している。	監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。	2	【川野委員】ホームページに情報が公開されており、安心感・信頼感がある。
	33 個人情報保護	2.4		社会的にも個人情報流出のニュースが目立ち、必然的に学園主導ではあるが個人情報の取り扱いの意識向上につながった。 また、個人情報の取り扱いに関する情報整理やルールの策定、職員の研修などを整備したことにより管理の透明性を図ることができた。	個人情報管理シート CPA研修 CPO研修 TRUSTe		
	34 学校評価	3		学校評価は適切な手順・方法で実施をされており、評価結果についても学校情報の一部として公開をしている。	学校ホームページにて学校情報を公開している。 ・学校評価(平成29年度)		
35 教育情報の公開	2.4		自己点検・自己評価の結果を学校情報としてホームページ上に公開している。情報公開という点では公開手段は現社会情勢に合った方法をとっており、実施内容は問題ないと考えている。	学校ホームページに下記情報を掲示している。 ・学校情報:トップページよりリンク ・職業実践専門課程:トップページよりリンク「別紙様式4」への導線を敷いている。			
献1・0 地域社会貢献	36 社会貢献・地域貢献	1.5		学校としての社会貢献・地域貢献はその活動規模が小さいため目立ってはいないが、教育につなげて実施はしている。 また、学園をあげての取り組みとして、地球温暖化防止のための日常行動の注意喚起がある。	地球温暖化対策の中で、学生への啓蒙活動としてポスターを掲示している。 現在は、教職員に対してはクールビズとウォームビズ、電気使用について節電を徹底し、発電におけるCO2排出の抑制に努めている。	2	【川野委員】地域との交流の活性化が学校の支持拡大にも繋がると思う。全生徒、年に1回は地域のボランティアに参加させると良い。(ボランティア精神の醸成) 【村橋委員】訪問美容など美容師として参加できる社会貢献事業も視野に入れると良い。 【上田委員】地域に貢献していくのはとても大変だと思います。先ずは楽しみながら参加できるものからスタートしても良いと思います。
	37 ボランティア活動	1.2		地域貢献・社会貢献・ボランティア活動については、実績が少ない。学校内だけでなく外に目を向けてそれらの活動していくべきである。	社会貢献活動として地域の祭に参加をしており、平成30年度は運営スタッフとして学生が登用できないか交渉をしている。		